

視聴覚いしかわ

発行／石川県視聴覚教育協議会
 編集／石川県立生涯学習センター学習情報グループ
 発行人／会長 村澤 勉

平成 27 年 3 月 27 日発行

金沢市石引 4 丁目 17-1 石川県本多の森庁舎 石川県立生涯学習センター内 TEL 076-223-9573 FAX 076-223-9585

利用者を惹きつけるWebデザイン

金沢学院大学美術文化学部メディアデザイン学科
 教授 棒田 邦夫



いま、テレビ・新聞離れが進んでいると言われていています。このテレビに替わって見られているのが「インターネット」です。40歳代世代では10人に3人、30歳代世代では10人に6人、20歳台世代では10人に8人と、若い世代ほど利用者が増えています。そのため、企業広告なども単価の安いインターネットへの移行が進んでいます。また、いろんなことを「ホームページを見て、考えて判断する」時代にもなっています。

以前のホームページは、Web上での情報発信をコンピュータで見られれば良い、というものでした。しかし今では「見栄えの良い」「わかりやすい」ホームページが求められています。

実例として、大手企業のホームページをご覧いただけるとお分かりになると思いますが、トップページではスライドショーを使って、大きな画面を3～5秒ごとに表示したり、クリックすると変化するようにになっています。

利用者を「惹きつける」には、小さい文字や小さい写真をたくさん並べても、わかってもらえません。このようなページだと、何を言いたいのか伝わりません。とにかく「大きく」見せる。少々威圧感のあるくらいの大きな画面で「迫力がある、臨場感がある」と思わせる。また、静止画だけではわかりにくいので、スライドショーや、クリックすると変化する画像、違うページにジャンプする等の機能を持たせる。ボタンも大きめのものを配置する。

デザインを考える時、「人がどう見るか」というところで配置が決まります。人間はパッと正面を見た時に左上から「Z」の文字を書くようにして見ます。最初に見て欲しいものは左上に配置すると良いということになります。企業のホームページなども、会社のマークはたいてい左上に配置されています。

同時に、「中央に大きく表示される方が、もっと良い」という考え方もあります。

これらの機能を実現するため、以前は「flash」が使われていましたが、今は「jQuery」という、無料で簡単に使えるツールが多く使われています。また「CSS3」を使うことにより、webページのレイアウトが大変楽に行えるようになりました。HTMLも、「HTML5」からは記述が大幅に簡略化され、わかりやすく、簡単になりました。HTMLに触れたことの無い方は、今からでもHTMLに触れると良いと思います。

「CSS3」と「HTML5」を使えば、webページ上に、「チラシ」などを印刷物と同じようなレイアウトで作成することが出来ます。これはそのまま「チラシ」などとして印刷することも出来ますし、動画を埋め込むことにより、より内容をわかりやすくすることができます。そうすれば、より利用者を惹きつけるページになります。

さて、利用者を惹き付けるためには、ホームページの更新も必要になります。ホームページは「情報発信」なので、新しい情報を盛り込んでいかなければなりません。一般的にはホームページの更新は3か月に1回行われると言います。しかし、知識のない個人で更新を続けていくとレイアウトが崩れたり、写真のコード場所がどこにあるのかわからず、不都合がいろいろと生じることになります。



そんな中、今注目を集めているのが「WordPress」です。WordPressを使う利点は「フォームが整っていて、フォームごとに画像・文字を配置して簡単にWebのレイアウトが出来る」「比較的に見やすく、わかりやすく、使いやすいWebページを簡単に作れる」ことです。そのため書き換えやデータの更新が行いやすく、頻繁に更新するWebページでは、あまり手間をかけずに更新作業を行えるので、WordPressを使うと良いと思います。この「更新が行いやすい」という部分が、WordPressが注目を集めている理由だと思います。

(平成 26 年度視聴覚セミナー講演より要約)

平成 26 年度石川県視聴覚教育協議会の活動について

石川県視聴覚教育協議会は、本県の視聴覚教育の振興発展に寄与することを目的とし、県及び市町教育委員会の視聴覚教育担当部局をもって組織され、視聴覚教育に関する研究奨励及び指導者研修、学習情報の交換のための事業等を行っています。

平成 26 年度の活動内容を紹介します。

平成 26 年度総会・視聴覚セミナー

○平成 26 年度 役員一覧

会 長	村澤 勉	石川県立生涯学習センター館長	監 事	折戸 容子	かほく市	
副会長	柿本 敦子	輪島市立図書館長	“	中村 潤	白山市	
理 事	本多美千代	能美市	参 与	坂井 芳子	石川県教育委員会生涯学習課長	
“	山崎 京子	野々市市	事務局	事務局長	石野 周	生学セ・学習情報グループリーダー
“	上出 功	内灘町		事務局員	山本 孝志	生学セ・学習情報グループ
“	横山 裕章	中能登町		“	数下 滋	“
“	今村 昌史	石川県教育委員会生涯学習課				

平成 26 年 6 月 12 日（木）、石川県本多の森庁舎において平成 26 年度総会が開催されました。

総会では、議長に石川県教育委員会生涯学習課の 今村 昌史 氏を選出し、議案審議の結果、平成 25 年度事業・決算及び平成 26 年度事業計画・予算案が承認されました。

総会に引き続き視聴覚セミナーとして、金沢学院大学美術文化学部メディアデザイン学科の棒田邦夫教授による講演「利用者を惹きつける Web デザイン」を実施しました。



情報技術活用研修会

各市町において実施される、「IT 講習」等の情報技術活用を目的とする研修会です。

平成 26 年度は、次の 3 市で実施されました。

実施主体	研 修 会 名 (内 容)	開催日(期間)	場 所	受講者数 (延べ)
小 松 市	パソコン活用講座 (デジカメ活用入門/応用、ワード基礎/応用、エクセル基礎/応用)	平成 26 年 8 月 1 日 ～8 月 29 日	小松短期大学演習室	305 人
能 美 市	パソコン初心者教室	平成 26 年 5 月 17 日 ～7 月 26 日	能美市根上勤労 青少年ホーム講習室	80 人
羽 咋 市	パソコンの疑問なんでも解決します！研修会	平成 26 年 9 月 3 日	羽咋市立 千里浜公民館会議室	10 人

ICT (情報技術) 活用講座

当協議会が、市町や学校・団体等の視聴覚担当者、学習担当者、公民館職員などを対象に行う講座です。

第 1 回 「ここまで出来る！ Microsoft®Word2013 使いこなし講座」

開催日：平成 26 年 8 月 27 日（水）～28 日（木）（2 日間、午前 10 時～午後 3 時）

講 師：Office アシスタ 山川 広美 氏

会 場：石川県本多の森庁舎パソコン室

参加者：公民館、各種団体職員 4 名

Word2013 を用いて、従前（オフィス 2003 以前）と大きく変わったソフトの使い方や新機能を学んでいただき、広報等の文書作成能力の向上を目指しました。

受講された 4 名の皆さんは、Word の基礎から熱心に学んでいかれ、好評のうちに終了しました。

第 2 回 記念講演会の実施

日 時：平成 27 年 3 月 6 日（金）午後 1 時 30 分～2 時 30 分

会 場：石川県本多の森庁舎 2 階第 3 会議室（「いしかわビデオ作品コンクール」記念講演）

詳しくは「平成 26 年度（第 45 回）いしかわビデオ作品コンクール」の項をご覧ください。

県民映像カレッジ

広く一般県民の皆さんに、映像作品制作に興味をもってもらい、ビデオの撮影・編集の技術を学んでいただく講座です。(石川県民大学校 情報・科学コース講座)

なお、この講座は、生涯学習センタービデオクラブ(SVC)の協力のもと実施しています。

場 所：県立生涯学習センター県民大学校教室ほか

講 師：岡野 重和 氏 ほかSVC会員の皆さん

開催日：第1期…平成26年6月12日～7月6日の間の6日間

第2期…平成26年10月4日～11月12日の間の6日間

(週1回、午後1時30分～4時)

参加者：第1期…13名

第2期…7名



カメラワークの基本といった撮影技術の基礎から、作品構成の基本的ルール、編集における絵つなぎのルール、編集ソフトの操作方法といったものを、2～4名のグループごとでの作品制作を通じて学んでいただきました。

また編集ソフトは、本格的な編集が行える「エディウス Neo3」のほか、初心者向きであり、無償で入手可能な「Microsoftムービーメーカー」を使用しました。

受講生たちは、毎回約1時間の岡野講師による講義を受けたあと、サポートスタッフであるSVC会員の指導の下、グループごとに撮影実習やパソコンでの編集作業を行い、映像作品づくりの課題に取り組みました。

最終日には完成した作品をサポートスタッフを含めた全員で鑑賞し、講評を行いました。受講生は、講師をはじめSVC会員の皆さんから、たくさんのアドバイスを受け、充実した講座になりました。

近年、「地域映像記録」の重要性が叫ばれています。受講された皆さんが講座の成果を発揮し、地域の記録をぜひ映像作品で残していただきたいと期待します。

全国大会レポート

第18回視聴覚教育総合全国大会・第65回放送教育研究会全国大会合同大会(東京大会)に参加して

石川県立生涯学習センター 学習情報グループ 主幹 山本 孝志

平成26年11月21日・22日の両日、国立オリンピック記念青少年総合センターほかにおいて、第18回視聴覚教育総合全国大会・第65回放送教育研究会全国大会合同大会(東京大会)が開催された。

1日目のテーマ別研究交流(第9分科会)では、「デジタル時代に対応した生涯学習メディアの活用」のテーマのもと、仙台市教育局生涯学習課より「仙台市におけるデジタルメディアに対応した生涯学習メディアの活用」、東京都足立区教育委員会より「作る、造る、創る メディア」と題し実践報告があり、市民と行政・生涯学習施設との協業による地域映像記録・教材作成とその効果について話し合われた。

2日目の団体別研究(全国視聴覚教育連盟・全国公立視聴覚センター連絡協議会)では、「メディア研修の充実と新たなメディア利用の可能性」および「新たな学習機会の在り方やネット環境の活用」の2つのテーマでの研究発表が行われた。

最初のテーマでは、新潟県生涯学習推進センターから「新たなメディアを広げていくために～新しいメディアの特徴を実感できる研修プログラム～」、埼玉県春日部市視聴覚センターから「メディア研修の充実と新たなメディア利用の可能性 ICT活用等の事例紹介と今後のメディア研修の方向性について」の2つの発表が、次のテーマでは、栃木県総合教育センターから「組織間ネットワークシステムの構築とその活用～栃木県視聴覚教育連盟と宇都宮市立視聴覚ライブラリーのつながりを中心に～」、茨城県から「ICTの有効活用とネット環境の現状と課題～茨城県の教育関係機関のネットワーク環境の事例から～」の2つの発表があった。

研究発表の後、メディア研修の在り方、県・市町村ライブラリーや各組織間・地域との連携、ライブラリーの在り方などについて討議された。

午後からは、功労者表彰、NHKによるプレゼンテーションの後、「これからの視聴覚・放送教育に期待するもの」と題しシンポジウムが行われ、視聴覚教育・放送教育それぞれの立場からの討議が行われた。

この大会を通じて、利用者・地域と生涯学習施設との協業、地域映像記録の保全などの重要性を再認識することが出来た。今後の視聴覚教育を通じた生涯学習活動に生かしていきたいと思う。

平成26年度（第45回）いしかわビデオ作品コンクール

共催：石川県教育委員会
 後援：石川県小中学校視聴覚教育研究協議会
 石川県高等学校視聴覚教育研究会
 石川県社会教育協会／石川県公民館連合会
 募集期間：平成26年12月1日(月)から
 平成27年2月2日(月)まで
 募集部門：①教材部門、②一般部門の2部門

今年度は、①教材部門6点、②一般部門15点、計21点の応募がありました。

審査会は、2月18日(水)午後1時半より、県立生涯学習センターにて行われました。4時間に及ぶ審査の末、右のとおり各賞が決定しました。

表彰式は、3月6日(金)午後3時より、石川県本多の森庁舎2階第3会議室にて行われました。

約50名の出席者のもと、石川県視聴覚教育協議会長、石川県教育委員会、石川県社会教育協会、石川県公民館連合会長より、受賞者へ各賞の表彰授与が行われました。

表彰終了後、各部門の講評並びに最優秀賞・優秀賞受賞作品の上映を行い、表彰式は終了しました。受賞された皆様、おめでとうございます。

記念講演会（第2回 ICT活用講座）

表彰式に先立ち、午後1時30分より当コンクール審査員の岡野重和氏を講師にお招きし、「私の映像作り 出会いと仲間たち」と題して記念講演会を実施しました。

☆☆☆ 審査講評 ☆☆☆

教材部門、一般部門の最優秀賞、優秀賞を受賞した作品は、ともに他の作品より編集、構成において秀でていたように思いました。

全作品の撮影技術にはまったく差がなく、中には受賞を逃した作品に撮影のうまさを感じたものもありました。受賞を逃した作品に多かったのが、映像が単調でシーンが変わっても同じような映像の連続で、焦点がぼやけて見えたことでした。それに比べて受賞した作品は要点を押さえた撮影と各シーンのつながり、編集と全体の構成ができていて、テーマとした題材とがうまくかみ合っていた点がありました。

（講評 審査委員長 棒田邦夫）

審査委員

審査委員長	棒田 邦夫	金沢学院大学美術文化学部 メディアデザイン学科教授
審査委員	岡野 重和	生涯学習センタービデオクラブ幹事
〃	網本 弘志	県教育委員会生涯学習課課長補佐
〃	村澤 勉	県立生涯学習センター館長

審査結果

①教材部門		
最優秀賞 (石川県教育委員会賞)	Kunstgewerbe (クンストゲヴェルベ)	石川県立工業高等学校 放送部
優秀賞 (石川県社会教育協会賞)	感染症は突然に!!	小松市立国府中学校 保健委員会
奨励賞	熱中症は危険!!	金沢市立工業高等学校
〃	決意	津幡町立津幡南中学校
〃	いぬまるっ子の ひみつ発見!	小松市立犬丸小学校 保健委員会
②一般部門		
最優秀賞 (石川県教育委員会賞)	夏越の大祓 (なごしのおおはらえ)	小林 陽 治
優秀賞 (石川県公民館連合会賞)	大寒の春 立春の寒	森 本 重 雄
奨励賞	甘茶まつり	小林 恵 子
〃	坂の多い町 金沢	小 倉 健 治
〃	はちまんさんと ひやくまんさん	石川県立工業高等学校 放送部



石川県教育委員会賞 表彰（教材部門最優秀賞受賞者）

===== 石川県立生涯学習センターからのお知らせ =====

「ふるさとモット学び塾」が、インターネットで視聴できます

子どもから大人まで県民一人ひとりがふるさとへの愛着と誇りを持つために、石川の文化や歴史、自然等について知識を深めるふるさと学習の講座「ふるさとモット学び塾」。この講座の様子を収録した動画を、石川県生涯学習情報提供システム「あいあいネット」のページからご覧になることができます。「あいあいネット」にアクセスして、ぜひご視聴下さい。（一部講座の配信となります）
 「あいあいネット」URL <http://inet.pref.ishikawa.jp/>

QRコード



お問い合わせ先 石川県立生涯学習センター学習情報グループ TEL 076-223-9573 FAX 076-223-9585